

## ★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 福田直樹 副委員長 清 雄一・櫻井祐子

幹事 福井健一・藤田桂英

日時 9月13日(金) 13:30~16:40

14日(土) 9:30~11:10

会場 霧島自然ふれあいセンター多目的ホール (霧島市牧園町高千穂 3617-1, <http://www.pref.kagoshima.jp/bc07/kikan/kirishima/riyou/koutsu.html>)

議題 「地球環境観測と人工知能」及び一般

13日

1. 気象学と人工知能のコラボレーション 関山 剛 (気象庁)
2. クラウドプラットフォーム/AI時代に向けた複合衛星画像の自動スタッキングツール開発及び高次プロダクトの試作 ○佐々木善信・中元経史朗・大吉 慶 (JAXA)
3. 人工衛星による地球観測データの統計的処理—植生条件指標と海表面温度— 得丸久文 (著述業)
4. アメダス環境監視カメラから積雪深を推定する AI アルゴリズムの開発  
○北村智文・小林健二・水野吉規・渋谷和孝・宮武真一・森 将人 (気象庁)
5. LSTM を用いた豪雨予測の検討 ○金子 凌・仲吉信人 (東京理科大)
6. 敵対的物理モデル損失を用いた海水表面温度画像のノイズ除去と欠損修復  
○平原暢之・菌頭元春・笠原秀一・飯山将晃 (京大)
7. A Study of Phase Shift in a Prediction of Upper Tropospheric Circulations Using Deep Learning ○Ekasit Phermphoonphiphat (Osaka Univ.)・Tomohiko Tomita (Kumamoto Univ.)・Masayuki Numao・Ken-ichi Fukui (Osaka Univ.)

◎情報交換会

14日

1. リカレントニューラルネットワークを用いた鬼怒川の洪水時水位予測  
○伊藤毅彦・金子 凌・片岡智哉・小野村史穂・二瓶泰雄 (東京理科大)
2. 海水温パターンを用いた漁場推定 ○志村拓実・菌頭元春・笠原秀一・飯山将晃 (京大)
3. ドローンを用いた海岸漂着ごみ定量化手法の構築 ○森田翔平・種田哲也・加古真一郎 (鹿児島大)
4. 医療教育用患者シミュレータの現状と今後の展望 渋谷良太 (第一工大)

【問合先】

AI 研究会幹事

E-mail: ai-staff@mail.ieice.org